

第1学年1組 学級活動 学習構想案

期 日 令和3年10月27日（水）第5校時

場 所 1年1組教室

指導者 教諭 山科 亜希子 境 由美子

1 単元構想

単元名	「10年後の社会と自分を考える」		
内容のまとまりの目標	○ 自分の個性や興味・関心、適性を知り、将来の社会・職業生活を考えるために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 ○ 将来の生き方や進路に近づくための今の課題を見いだし、将来の生き方や生活につながる適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くことができるようにする。 ○ 将来の生き方を描き、生涯にわたって段階的な目標の達成と自分の社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	① 現代社会が抱える課題や10年後の社会の予想などの情報の知識を知っている。 ② 将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身に付けている。	① 自分らしい生き方の実現に向け、現在の学習や将来の進路についての課題を見いだししている。 ③ 現代の課題について適切な情報を収集したり将来の社会状況について予測したりしながら自分の10年後の姿を考えて意思決定している。	① 将来の生き方を見通したり、現在の生活や学習を振り返ったりしようとしている。 ② 将来の自分について考え、社会的・職業的自立に向けて努力していこうとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
将来についての必要な情報を収集してその知識を身に付けるとともに、将来の自己実現のために現在の自分の課題を考えて改善しようとする生徒			
単元を通した課題		本単元で働かせる見方・考え方	
将来の社会における自分の進路選択と生き方のために、学校生活で今からできることを考え、実践していこう。		現代社会の課題や予想される未来における自己実現に向けて、自己理解を深め、自己の可能性を生かす力を養うとともに、自己の在り方と生き方を考え、将来を設計しようとする。	
指導計画と評価計画（一連の活動と評価）			
時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」	
10月14日 学級活動	○ 地球規模における現代社会の課題を知り、今の自分を考える。	★【知①】（ワークシート、観察） ○ 現代社会の課題について理解している。	
10月22日 学級活動	○ 未来に向けた世の中の動きについて知り、自分の将来について考える。	★【知②】【思②】（ワークシート、観察） ○ 未来に向けた世の中の動きについて理解し、興味のある事柄について調べている。	
10月27日 学級活動（本時）	○ 10年後の社会や自分の将来について考え、現在の自分の生活を振り返る。	★【思②】【態②】（ワークシート・観察） ○ 自分の生き方を考え、将来に向けて努力していこうとしている。	
（定期的に） 帰りの会	○ 目標を意識した生活を送ることができているか定期的に振り返りをする。	【態①】【思①】（自学ノート・観察） ○ 将来の生き方について考え、自分の生活を振り返っている。	

2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所				
中学校学習指導要領〔学級活動〕内容（３）ウ 目標を持って、生き方に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。				
単元の価値				
本単元は、生き方や進路に関する各種の情報を収集して活用するとともに、自分自身の興味・関心などの個性を理解した上で、自分の将来の生き方や生活について見通しをもち、進路選択を行うものである。 そこで、日々変化していく現代社会の課題や予想される生活環境などについての情報に目を向けさせ、社会生活を送る際に求められる能力について考えさせたい。また、日々変化する世の中において、自分自身の生き方や生活をよりよくするために、常に将来設計を描き直したり目標を段階的に修正したりして、自己実現に向けて努力していくことが大切であることに気付かせたいと考える。				
本単元における系統				
9月 道徳科 ありがとう C-13 ※ 勤労を通じて社会に貢献する 9月 総合的な学習の時間 ○ 集中して授業に参加しよう 12月 総合的な学習の時間 ○ 将来の生き方と進路計画 4月～7月 ○ 働く人びとの姿と考える ○ 職業と適性 ○ 職場聞き取り 9月～12月 ○ 人類が抱える課題 ○ 身近な社会と未来への動き ○ 10年後の社会と自分 1月～3月 ○ 卒業後に学ぶ道 ○ 将来のキャリア計画 ○ 進級への心構え				
生徒の実態（内容のまとまりの目標につながる学びの実態）				
■学力（資質・能力）に関する実態				
調査内容	とても	まあまあ	あまり	ない
学校生活で友達と協力することができていますか。	11名	10名	0名	0名
人の話をしっかりと聞くことができていますか。	2名	16名	3名	0名
授業に対して積極的に取り組むことができていますか。	2名	18名	1名	0名
話し合い活動では積極的に自分の意見を発信することができていますか。	14名	5名	2名	0名
■本単元の学習に関する意識の状況				
調査内容	とても	まあまあ	あまり	ない
中学校を卒業したらどうするか、考えていますか。	5名	11名	4名	1名
自分の将来について考えたことがありますか。	4名	12名	3名	2名
将来になりたい（希望する）「職業」か「夢」がありますか。	7名	7名	4名	3名
進路の学習で、仕事や働くことへの関心が高くなりましたか。	2名	14名	5名	0名
■考察 （資質・能力に関して）学校生活では、全体的には協力し合ったり、互いの話をしっかりと聞いたりすることができている生徒が多い。普段の授業の様子から、班活動など小グループでの活動の際はそれぞれの意見を発表することができるが、クラス全体での活動の際に、自分の意見を積極的に言うことができる生徒は限られている。 （学びに関して）将来のことを考えている生徒は約75%にのぼり、将来の夢や目標を持っている生徒が多くいる。ただ、漠然とした「夢」を持っているだけの生徒も多く、その将来のために努力をしている生徒はごく少数で、自分の生き方や将来、社会とのかかわり方などについて思考する学習が必要だと考える。未来の社会や自分について考えることで、現在の自分の生活を振り返り、自己実現に向けた努力の大切さに気付く学びの場としたい。				

3 指導に当たっての留意点

- 全体指導の場面では多様な考え方を引き出し、考えの追加や修正、評価を交えて進める。
- 自分の意見を表現することへの抵抗感を軽減するため、小集団である班の中で意見交換を行う。
- 協働的・参画的・体験的な学習の推進のために、まず個人の考えや意見を持たせ、班での話し合いでは考えを出し合う場を確保し、互いの意見を認め、深め合う雰囲気づくりをする。また、役割分担をしながら班での意見をまとめ、発表し、学びの共有化を図っていく。
- 授業におけるUD化の視点（①教室環境②学習のきまり③人間関係づくり④授業の構成⑤発問や指示⑥板書⑦教材や教具）を意識して、すべての生徒にとってわかる、できる授業にしたい。

- 授業のまとめでは、思考力、協働力、発信力の視点によるルーブリック評価を取り入れ、学習の振り返りをさせる。
- 本校で育成を目指す資質・能力の本時における具体の姿を次のように設定する。
 - ・発信力…自分の特徴に触れ、それを活かして未来の自分からのアドバイスや未来の自分に近づくためにすることを書いている。
 - ・思考力…Society5.0の視聴を踏まえて、自分の将来像を具体的に考えている。
 - ・協働力…伝えるだけでなく質問するなど相手を理解しようとしながら双方向のやり取りができています。

4 本時の学習

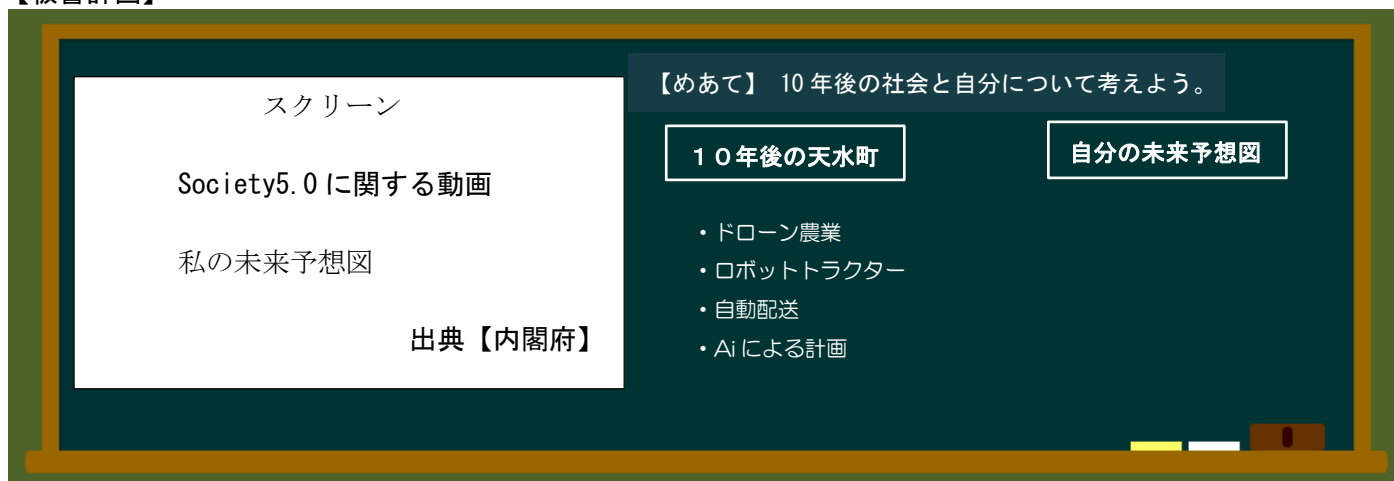
(1) 目標 10年後の未来や自分の姿を想像し、今の生活を振り返ることで、自分の将来像を描くことができるようにする。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	1 前時までの学習を振り返る。 ◇地球温暖化による環境破壊のビデオを見たけど、ほんとにみんな未来が来てしまうのかな。 ◇ロボット開発はとても進んでいたよね。 【めあて】10年後の社会と自分について考えよう。	○生徒が書いた前時までの学習の振り返りをもとに、本題材に対する課題意識を高める。
展開	10分 20分	2 10年後の天水町はどうなっているか、予想しながら、10年後の予想される社会の映像を視聴する。 ①自分の考えを持つ。 ◇さっきの映像みたいにドローンやロボットを使って農業をしているかな？ ◇少子高齢化が進んでいるだろうな。 ②全体で意見を交換し、考えを広げる。 ◇少子高齢化が進めば進むほど、ドローンやロボットが必要になるな。 ◇農作業や山間部の移動が楽になっているといいな。 3 10年後の自分の姿を予想する。 思考力 ①自分の考えをワークシートに記入する。 ②班で意見交換をし、考えを広げる。 思考力・協働力 ◇みんな、それぞれにいろんな予想をしているな。 ◇これから先、どんな勉強をしておけばいいのかな。 ◇どんな世の中になって、どんな仕事につくのかな。 ③未来の自分から、現在の自分へのメッセージを記入する。 4 自分の現状を振り返り、将来のなりたい自分になるために、それぞれの思いや考えをまとめる。 発信力 【期待される学びの姿】 将来の自己実現のために、今の生活を振り返り、自分の考えを書いている。	○視聴前に見る視点を与えておく。(VTR) ○天水町についてのこれまでの学習や、前時までの学習を想起させる。 ○自由に発言、発表させていく。 ○天水町の課題に触れつつも、前向きな発想を大事にしたい。(プレゼン資料) ○自由な発想を大事にしながらも、どんな未来になってほしいか、どんな自分になっていたいかに関心を持っていく。 ○交流を大切にして、様々な価値観を認めながら進めたい。 ○明るく前向きな雰囲気を作る。(ワークシート) ○発表の機会を多く設定し、それぞれの思いや考えを大切にすること。 ○将来への興味、関心をもち、前向きな気持ちで終わらせたい。 【具体の評価規準】態② ○自分の生き方を考え、将来に向けて努力していきこうとしている。 (方法：ワークシート、観察) 【到達していない生徒への手立て】 ○机間指導で声かけを行い、それぞれの将来をイメージさせ、具体的にどうしたらいいか考えさせる。

終 末	10 分	5 めあてに対する振り返りをする。	○「将来設計を描き直す」「目標の修正」をしながら生き方を自分で判断し、決定していく必要があることを話す。 ○思考力、協働力、発信力の視点から本時の授業についてルーブリック評価をさせる。
--------	---------	-------------------	---

【板書計画】



【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画
・展開の最初に Society5.0 に関する動画を提示することにより、本題材に対する課題意識を高め、10年後の社会についてイメージしやすいようにする。 ・視覚的に理解できるような絵や図を掲示する。

【本時のルーブリック】

育成を目指す資質・能力	協働力	思考力	発信力
S	伝えるだけでなく質問するなど相手を理解しようとしながら双方向のやり取りができています。	Society5.0 の視聴や天水町の 10 年後の姿の予想を踏まえて、自分の将来像を具体的に考えています。	自分の特徴に触れ、それを活かして未来の自分からのアドバイスや未来の自分に近づくためにすることを書いている。
A	相手を理解しようとしながら双方向のやり取りができています。	Society5.0 の視聴や天水町の 10 年後の姿の予想のどちらかを踏まえて、自分の将来像を具体的に考えています。	未来の自分からのアドバイスや未来の自分に近づくためにすることを書いている。
B	相手を理解しようとしながら話を聞いている。	自分の将来像を具体的に考えています。	未来の自分からのアドバイスを書いている。

※本校作成のルーブリックをもとに準用しています。

〈参考資料〉

政府広報「Society5.0」動画【内閣府】